

第3種郵便物認可

合同展に150社

アジア・アパレル
ものづくりネット

アジアに縫製工場を持つ企業で構成する「アジア・アパレルものづくりネットワーク」(AAP)が11月21日に都内で開催した初の展示会「AAP合同展」に150社が来場した。中国での反日デモの影響もあってか、商社や大手アパレルメーカー、専門商社などのトップクラスが相次いで訪れた。

AAP合同展は正会員30社、協力会員10社のうち16社が参加。中国やベトナム、バングラデシュ、カンボジア、ラオス、ミャンマーで生産したサンプルを紹介した。来場者間の共同や情報交換なども進んだという。初の開催で手応えを得たことから、来年2月から3月に秋冬展を開催する予定。「ビジネスにつながる取り組みにしたい」(宮崎守オーダー・オブ・メリット・プランニング代表取締役)としている。